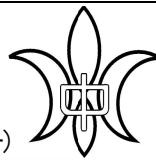


小高中
学校通信

浮舟

(第20号)



<学校目標> 高い志を持ち努力する生徒の育成 ~夢の実現~

<重点目標> 他とつながり、進んで課題解決できる生徒の育成

平成28年 3月23日(水)

<発行者>校長 箭内 仁史
〒979-2335

南相馬市鹿島区鹿島字広町13
(南相馬市立鹿島小学校内仮設)

☎0244(46)4268

本日修了式 1年間ありがとうございました

この1年間大きな事件・事故等も無く、本日修了式を迎えることができました。保護者の皆様には、常日頃より本校教育活動にご理解とご支援をいただきましたことに衷心より感謝申し上げます。子ども達の健全な育成を目指して、佐藤PTA会長様を始め役員の皆様、全会員の皆様により、奉仕作業や文化祭のお手伝い、5校P夏祭りのご協力、PTA広報の発行、教育講演会等、充実したPTA活動を展開することができましたこと、大変うれしく思います。お世話になりました。会員数も減少傾向にありますが、地元小高に寄せる熱い思いは今まで以上に感じることができました。



本年度『夢の実現』を目指し、「他とつながり、進んで課題を解決できる生徒」の育成に取り組み、その成果が多方面で見ることができた一年でした。お陰様で、子ども達はたくましく育ち、卒業式では一人ひとりの思いが表れ、式歌・校歌が体育館に響き渡り、感動あふれる卒業式を挙行することができました。32名の卒業生は満足感や充実感に満ちた表情で旅立っていきました。報道陣にも堂々と受け答えをしていました。本年度は保護者の皆様の発案により、校歌紙面を式場前面に掲示しました。1, 2年生は卒業式では素晴らしい態度で、式歌も立派に歌い上げました。準備や後片付けも集中して取り組み、小高中の良き伝統を立派に受け継いで、来年度大きく飛躍することを期待しています。



平成28年度前期生徒会役員が決まりました

17日（木）に次年度の前期生徒会役員選挙が行われました。無投票当選でしたが、決意表明演説には、先輩方の素晴らしい伝統を引き継ぎながらも、元気なあいさつができ、いじめのない明るい学校にしたいという力強い信念を感じられました。演説で述べた抱負の実現に向けて全力で取り組んでもらいたいと思います。周囲の皆さんも役員に協力して、生徒会を盛り上げ新しい生徒会をつくり上げてください。

《よろしくお願ひします》

<会長 半杭君> この度、生徒会長になりました半杭です。この学校を今までよりもよいものにするために頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

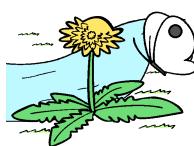


<副会長 佐藤君> この度、生徒会副会長になりました佐藤です。よりよい学校生活を送ることができる学校を皆さんと一緒に作りたいと思いますので、よろしくお願ひします。

<副会長 海老沢さん> 生徒会副会長になった海老沢です。今ある問題を解決し、みんなが楽しいと思える学校をつくるよう、精一杯頑張ります。

<書記 千葉さん> 私の目標は、朝のあいさつ運動では明るく、大きい声であいさつをし、あいさつを返してもらうことです。

<会計 佐藤さん> 私は前期生徒会役員として、自分のやるべきことに責任を持って全力を尽くし、全校生と一緒によりよい小高中を築いていけるよう努力したいと思います。



～有言実行を期待しています！！～

裏面もご覧ください

「修了証書授与式」 式辞

今日で平成27年度小高中学校の教育課程が修了し、修了証書を手渡しました。

皆さん、私が4月7日の入学式・始業式で話をした「夢の実現」に向けて、1年間精一杯取り組めたでしょうか。「他とつながり、進んで課題を解決できる生徒」に近づけたでしょうか。具体的には、おもいやりの心を持って、お互いの良さや考えを認め合い、協力して問題を解決する、自分や他の人のためになすべきことを自分から考え、その考え方や思いを言葉や行動でしっかりと伝え合う、わがままを言ったり、仲間はずれをしたりすることなく、困っている人には声をかけてあげることができたでしょうか。一人ひとりこの1年間を振り返ってみてください。

先ず1年生ですが、春の遠足から始まり初の定期テスト、部活動の練習やその大会を経験しました。最初は、物静かで不安なところもありましたが、1年が経ち、今はすっかりたくましくなりました。群青祭では、他と協力して、堂々と自分たちを表現することができました。勉強に部活動に熱心に取り組み、生徒会役員にも立候補しました。

次に2年生ですが、中堅学年として、中体連では3年生をアシストするとともに、1年生をリードして、陸上大会、中体連総合大会、駅伝大会等で県大会出場につながるすばらしい頑張りをみせてくれました。群青祭や合唱では一人ひとりが個性や能力を発揮し、各自が力を合わせ、やるときにはやる団結を感じることができました。授業にも真剣さが感じられ、努力の跡も見られました。

全体的には、大きなじめではなく、学習や部活動、清掃や各種行事には、クラスや学年でまとまり、明るく積極的に取り組みました。色々な問題を話し合いで解決し、克服した点が嬉しく思います。また、各種検定にも積極的にチャレンジし、よく頑張りました。卒業式の準備や後片付けでは遊んでいる人が一人もいませでした。態度も大変立派でした。この一年、皆さんはいくつもの試練を立派に乗り越えて、一段と成長しました。

また、1年間欠席をせず登校した人は、1年生が5名、2年生は10名でした。(※呼名しました。) 本当によく頑張りました。嬉しい限りです。本人の頑張りと、ご家族の応援のたまものです。ぜひ、三年間の無欠席をめざしてください。

残念ながら、課題も残っています。自分から積極的に学習に取り組んでいる人が少ない、宿題を忘れる、仲間作りがうまくできない、表現力がまだ十分身についていない等です。これらは社会の中で必要とされているものばかりです。ぜひ、来年度の解決すべき目標としてください。

さて、3年生の国語の教科書に取り上げられている中国の文学者“魯迅”の『故郷』の一節を紹介します。

「思うに希望とは、もともとあるものともいえぬし、ないものともいえない。それは地上の道のようなものである。もともと地上に道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。」

「希望」という言葉を「夢」や「目標」という内容に置き換えてみましょう。みなさんも、たくさんの夢を持っていると思います。将来携わってみたい職業。ぜひ実現させたいみたいこと。その中には、ご家族に関連した職業。尊敬できる目標としたい人。いつか行ってみたいあこがれの国など具体的な夢に向かうことはとても楽しみです。

しかし、今までまったく縁のない分野の仕事を希望している人もいると思います。「この分野はまったくわからないから不安だなあ」「自分にこんなことができるかなあ」「夢を描いたことが果たして自分にできるのかなあ」不安になったり、自信がなくなったりするような瞬間は誰にでもあります。私にもありましたし、これからもあると思います。

今まで誰も経験したことのないようなことに挑戦しようとする人っています。大いに挑戦してください。そして、誰も歩いたことのない、新しい道を切り開いて進んでほしいと思います。

新たな春、進歩の春、成長の春を迎えるにあたり、「心を新たにして新しいことに挑戦してほしいと思います。1人で辛いときには、仲間で励まし合い、助け合って頑張ってください。その積み重ねが、必ず「夢の実現」に結びつきます。

4月から1年生は中堅の2年生になります。新入生の先輩となります。中だるみをしないで、一生懸命に何事にも取り組んでください。

2年生は最上級生の3年生になります。小高中の「顔」・代表として、また、牽引車・実行部隊として力強く、自信を持って何事にも取り組んでください。

最後に、春休みは、この1年を反省し、この1年間頑張れたのは、友達やご家族、先生方、支援をいただいた全国の人々など、実際に多くの方々から声をかけられ支援いただいたからであることを自覚し、周囲に感謝の気持ちを伝え、新年度の準備をする季節です。中学生の「1年の計」は「春休みにあり」です。事件や事故に遭わないように、甘い誘惑に負けずに、よく考えて生活してください。以上で式辞とします。